

4 将来像に向けた

施策展開の基礎となるインフラ整備

[地域のポテンシャルを引き出す道路整備等の促進]

めざすべき将来像の実現に向けて効果的な施策展開を行っていくためには、新東名高速道路や三遠南信自動車道、設楽ダム、リニア中央新幹線など大規模プロジェクトの整備を促進し、その事業効果を三河山間地域の広い範囲に波及させ、地域のポテンシャルを引き出していくことが必要である。そのため、これらの大規模プロジェクトと三河山間地域内とのネットワークを強化する道路整備を着実に進めていく。

新東名高速道路	三遠南信自動車道
<p>額田 I C と新城 I C を含む豊田東 J C T ~ 引佐 J C T (静岡県) は 2014 年度に供用開始予定。引佐 J C T ~ 御殿場 J C T (静岡県) は一足早い 2012 年度に供用開始予定。</p> <p>I C へのアクセス道路など関連整備の促進を引き続き行っていく。(建設部)</p>	<p>最重要整備区間として鳳来 I C ~ 引佐 J C T の早期完成を目指し、トンネルや橋梁の工事が進められている。東栄 I C ~ 鳳来 I C では設計等調査中、佐久間 I C ~ 東栄 I C では用地買収及び一部工事中。</p> <p>鳳来 I C ~ 引佐 J C T の早期供用や、その他区間の整備促進について、今後も国に働きかけていく。(建設部)</p>
設楽ダム	リニア中央新幹線
<p>東三河地域への安定的な水供給と洪水被害を軽減し、継続的な発展を図るため、設楽ダム建設事業を促進していく。</p> <p>建設に伴って移転を余儀なくされる住民の生活再建が円滑に進むよう、国とともに適切な対応を図っていく。</p> <p>水源地域の振興策の具体化を図り、事業効果を三河山間地域でも確保していく。(地域振興部)</p>	<p>首都圏 ~ 中京圏間については、J R 東海が 2025 年までの営業運転の開始をめざしており、動向を見定めていく必要がある。(地域振興部)</p>

幹線道路を中心とした地域内道路の整備

東三河縦貫軸や北設井桁幹線軸を構成する国道 151 号、257 号、420 号、473 号や国道 301 号など幹線道路の整備を着実に進めていく。(建設部)

山間地域の暮らしを支える生活道路の整備を支援していく。(建設部)

国が直轄管理している国道 153 号の整備促進を働きかけていく。(建設部)

東三河縦貫軸の強化につながる三河東美濃連絡道路について、検討を進めていく。(建設部)

[主なインフラ整備箇所]



新東名高速道路イメージ図



三遠南信自動車道イメージ図



設楽ダムイメージ図



リニア中央新幹線イメージ図
(写真 山梨リニア実験線)